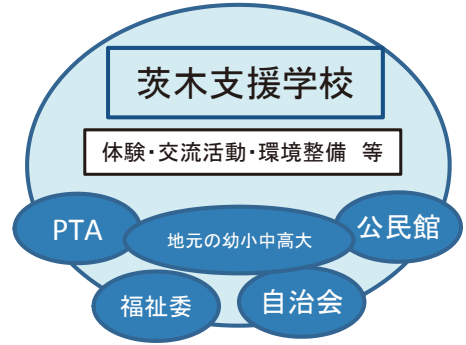


# 地域の中に生きる学校 ～ 30年以上の長きに渡る地域と学校の交流活動～

大阪府茨木市		● 活動名 茨木支援学校学校支援活動（地域交流）		● 関係する学校名 大阪府立茨木支援学校	
開始年度	昭和 60 年度	学級数	35 学級	児童・生徒数	233 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	連携団体・企業等	茨木ロータリークラブ 福井連合自治会 追手門学院大学 茨木高機交通
ボランティアの数	登録人数 35 人	属性	茨木高機交通 福井地区自治会 茨木ロータリークラブ 地域高校生、大学生 ロータリーアクトクラブ		
参考 URL	https://www2.osaka-c.ed.jp/ibaraki-y/				
● 連絡先	大阪府立茨木支援学校		☎ 072-643-6951		
● 活動の概要・経緯	<p>府立茨木支援学校では、草創期より地域の福井地区の住民とともに学校づくりを進めてきている。例えば、芋ほりの活動では、校内の畑で活動するが、車いすの児童生徒が横になって苗植えができるようにブルーシートをしくなど準備をしている。また、校区周辺は農家も多く、イチゴ狩りも地域の農家が協力し実施している。</p> <p>毎年夏に行われるひまわりフェスタでは、地域住民だけでなく、地域の学校や保護者が模擬店を出店したり、運営したりしている。「子どもたちのために」を合言葉に地域と学校が協働して多様な取組を実施している。</p>				

● 体制図



## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

- ・ 農作業体験  
地域住民の協力により、いもの苗植え、いもほり体験、いちご狩りは毎年必ず実施している。肢体不自由の児童でも実際に体験ができるように、地域住民が工夫され、より豊かな体験にすることができている。そして、30年以上継続して取り組んできている。
- ・ ひまわりフェスタ  
保護者、地域、学生ボランティアがともに協働して準備・運営している取組である。誰でもバリアフリーに楽しめるゲームの数々、バザーや手作りお菓子、グッズの販売等の模擬店、ダンスや軽音楽等。支援学校の児童生徒と同窓生や地域ボランティア、地域の小中学生と一緒に楽しむことができる行事である。
- ・ 環境整備  
夏の草刈りや花壇の整備を地域住民が行っている。
- ・ 新春交流餅つき大会  
1983年以来継続して実施しており、地元タクシー会社ももち米等の準備や、餅つきの采配など、中心になって活動し、地域の公民館や交流校も交えて盛大に行われている。

### 【実施にあたっての工夫】

- ・ 学校創立時より農村だった地域との関わりが深く、つながりを今でも続けている。
- ・ 自治会に学校のことをよく知っている人がおり、様々な点で地域と協働した取り組みを行っている。
- ・ 学校行事を自治会の日程に入れ、また公民館の取組とタイアップすることで、より多くの地域住民が参加できるようにした。
- ・ 模擬店やフェスタの運営はコーディネーターをはじめとした地域住民や、PTA、学生ボランティアが担うことで、教員は児童・生徒の対応に専念している。

## ● 事業を実施しての効果・成果

支援学校は広域から児童・生徒が通学することから地域との連携の取り方が難しい中、草創期より地域の方々とともに学校づくりができています。自治会や保護者、地元小中高等学校と多様な取組を行うことにより、支援学校への理解を深める機会となっているとともに、ひまわりフェスタのようなPTAや自治会がともに行事を運営することを通して、児童・生徒の障がいの理解につながっている。「誰もが参加できる行事にしたい」という地域の方々の思いから、毎年様々な工夫を凝らし、取組が充実していつている。これらの取組を通じて、子供たちは社会性を育む機会とともに、より豊かで多様な経験をする機会となっている。



ポイント

特別支援学校として草創期より30年、地域とともに歩み、学校への理解が深まっているとともに、児童生徒の社会性を育んでいることが伝わってきますね。